

一般社団法人 日本応用地質学会

令和4年度・2022 年度

第 2 回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会 議事録(案)

日 時 : 2022 年 6 月 23 日(木) 14:00~17:00

場 所 : 日本応用地質学会 事務局、Zoom を用いた Web 会議(併用)

出席者 : 長谷川委員長、菊地副委員長、加地委員、水野委員、百嶋委員、百瀬委員、山下委員、安田委員、山田幹事

委任状提出: 越谷委員、昆委員、徳楠委員

陪席: 茶石顧問

議事:

1. 前回議事録(案)の確認

- ・前回(2022 年 4 月)に開催した委員会の議事録(案)を了承した。

2. IAEG JAPAN 運営委員会活動について

(1) IAEG 事務連絡

1) IAEG Newsletter 関連

- ・2022 No.2 の投稿について、先日開催した総会・シンポジウムを題材にして作成する。
- ・2022 No.3 の投稿へ向けて、引き続き素材の収集準備を進める。
- ・募集中の表紙写真について、学会事務局長より、学会誌表紙に使用した写真やフォトコンテストの題材から選定したものを JapanNG から IAEG へ投稿することは可能との判断を頂いた。

2) IAEG 役員改選について

- ・5 月の理事会での報告内容について、長谷川委員長より報告がなされた。
- ・2026 年の次期改選へ向けて、立候補者を選出して打診する。
- ・今後は、2023 年開催予定の XIV コングレス(中国成都)や第 14 回 ARC&IAEG 総会(マレーシア)でのロビー活動に向けて、諸々の調整と準備を進める。

3) 他 National Group との交流について

<韓国>

- ・秋の研究発表会での KSEG 会長による講演へ向けて、引き続き準備を進める。
- ・録画動画の IAEG への Webinar 投稿については、KSEG での公開終了を確認した後に、関係方面への確認を取った上で提供準備を進める。公開終了のタイミングについては、KSEG へ確認する。

<CHINESE TAIPEI>

- ・CHINESE TAIPEI Regional Group の代表から回答があり、YEGs のメンバー 2 名を窓口として交流を進めたこと。今後は、国際委員担当者から直接コンタクトを取ってみる。なお、JSEG 側の YEGs 対応メンバーの増員候補についても検討する。

<その他>

- ・今後、各国との交流を活発化していくことを想定した場合、事前に講演協力して頂ける候補者や災害地質研究部会(60 周年特集記事など)の協力を得た上で、発表用素材(英語版 PPT)を常備しておくのが望ましい。

(2) その他

1) 学会誌 Bulletin 紹介

- ・次号担当委員は、学会誌 10 月号掲載に向けた委員会内の原稿締め切り(7 月末まで)に原稿準備を進める。
- ・半年に1回程度を目標に、投稿論文の分野別傾向を分析する。
- ・新スタイルでは翻訳時の担当者の負担軽減のため、原稿は最大2ページ程度とする。内容の一例として、各担当が自身の得意とする業務分野に着目し、同分野での Bulletin 掲載論文の紹介を絡めて、最近の国内動向との比較を行う、など。

2) ダイバーシティ推進特別委員会

- ・令和 4 年度第 2 回委員会の議事録について説明がなされた。
- ・海外経験が豊富な方を講師として募集中とのこと(海外アラカルトで発表された方など)。

3) 若手技術者を対象とした海外技術関連情報・知見の発信について(研究発表会_特別セッション開催)

- ・KSEG 会長に特別講演を依頼する件について、理事会への報告内容を説明がなされた。

4) 報告書執筆特別委員会関連

- ・引き続き特別委員会との情報共有を図りながら、国際委員会としては英語版の意義等を検討し対応方針を早めに固めたい。

5) 大学機関からの国際委員会への参加について

- ・若手の大学関係者 →国際委員会、YEG にも加わってもらおう方向で要請する。
- ・その他に、大学の海外留学生(学会員になれば参加可能)などにも打診する方向で検討する。

6) 海外シンポジウム

- ・現在、学会 HP に掲載中の情報について説明がなされた。適宜内容を最新情報に更新した上で、JSEG_HP のトップページ及び学会 NL での周知を手配する。

3. ホームページ関係

(1) JSEG 英語版 HP

- ・今後の HP 更新担当のうち、掲載コンテンツの検討は担当委員が主体となって進める。
- ・国際委員会における今後の SNS 活用については、広報・情報委員会の動向に合わせて対応する。
- ・直近での新たな試みとして、国内災害情報の速報的な情報提供(SNS)や写真集コーナー新設(HP)(災害調査団&海外調査団(ネパールと韓国はある?))などの対応準備を進める。
- ・写真集のひな型となるような参考資料(写真+コメント)を顧問にご提供頂いた上で、理事会等で災害研究部に協力を依頼する。

(2) JSEG 日本語版 HP

- ・更新状況について確認した。引き続き、必要に応じて更新を行う。
- ・国際委員会としての学会 Facebook の活用方法については、引き続き検討する。

4. 海外情報の共有

- ・「海外アラカルト」講演について今後も継続するため、海外業務の経験豊富なメンバーへの協力を要請する。

5. 重要案件の対応

(1) 韓国・CHINESE TAIPEI Regional Group との交流推進

- ・本活動は、下記(2)とのセット対応も含めて検討する。
- ・CHINESE TAIPEI Regional Group の連絡窓口は、以下の通り。

Dr. Ya-Chu Chiu. (Female) Assistant professor, National Chung Hsing University. clarice.chiou@gmail.com

Dr. Che-Ming Yang. (Male) Assistant professor, National United University. stanleyyangcm@gmail.com

Li-Yuan Fei, the representative of IAEG Chinese Taipei National Group

(2) 若手技術者向けの海外技術関連情報の発信

・秋の研究発表会で特別セッションを設け、JSEG 講演者(6名程度)と海外招待者2名(KSEG, CHINESE TAIPEI RG)の発表、パネルディスカッションの開催など。(ダイバーシティ特別委員会との共催も検討)

※セッション開設が承認され次第、招待者に依頼を掛けるようにする。

(3) HP等での海外発信用コンテンツの作成

・学会 Facebook の利活用方法など。

※災害調査団速報も含むため、災害地質研究部会への英訳作成協力を要請する。

6. その他

・田中基金に関する定期配信の周知文面の提供について、広報・情報委員会より要請があった。国際学会へのオンライン参加も支援対象となる旨を加えた文面を検討する。

・次回委員会(令和4年度_第3回)は、令和4年8月下旬に開催する方向で調整する。

以上